

科目名	ネットワークングⅡ		英文表記	Networking II		22年3月18日	
科目コード	4312						
教員名：角田 正豊 技術職員名：新田 保敏						作成	
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
メディア情報工学科	4年	選	学修	2単位	講義	後期	
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	①小規模から中規模のネットワークのユーザに対してさまざまなアプリケーションにわたるカスタマーサポートを提供するために必要なスキルを修得する。			ペーパーテストの採点結果およびネットワーク機器設定試験結果から必要なスキルの習得度を評価する。(定期試験60%、設定試験30%)			
	②e-learningの使用スキルを習得する。			オンラインテストの受験により評価する。(10%)			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		メディア情報工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標		A-3、
授業概要、方針、履修上の注意	<p>授業概要：エントリーレベルのネットワーク技術者およびヘルプデスク技術者に必要なレベルで、ルーティング、リモートアクセス、アドレッシング、およびネットワークサービスについて学習する。</p> <p>方針：Cisco Networking Academyのonlineプログラムを用いて自主的に学習を進めることが基本であり、受身でなく積極的に学習に取り組むことが必要である。</p> <p>履修上の注意：オンラインで行うファイナルテストの受験は、本科目履修の必須条件である。</p>						
教科書・教材	CCNA Discovery：中小規模ビジネスまたはISPにおける業務						
授 業 計 画							
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目	
1	オリエンテーション	2	授業概要、注意事項の説明				
2	ルーティング	2	ルーティングプロトコル、				
3	ルーティング	2	RIPの設定				
4	ISPサービス	2	トランスポート層プロトコル				
5	ISPサービス	2	DNS、サービスプロトコル				
6	ISPの役割	2	セキュリティとそのツール				
7	ISPの役割	2	監視、管理、障害復旧				
8	トラブルシューティング	2	方法論とツール、第1～3層のトラブルシューティング				
9	アドレッシング構造	2	第4層以上のトラブルシューティング				
10	Cisco認定の準備	2	認定試験の説明				
11	Cisco認定の準備	2	練習問題を用いて通年の学習内容を復習				
12	Cisco認定の準備	2	練習問題を用いて通年の学習内容を復習				
13	Cisco認定の準備	2	練習問題を用いて通年の学習内容を復習				
14	ネットワーク機器設定試験	2	ネットワーク機器設定試験				
15	ファイナルテスト	2	ファイナルテストの受験				
期末	期末試験	[2]					
学習時間合計		30	実時間			25	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 30時間の自学自習時間を時間割に組み込み、教員の指導の下で自学自習を行う。 各課終了ごとにその課のオンラインテストを受験する。							

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)